

# 浜田支部だより

令和3年3月発行  
島根県看護協会浜田支部  
発行責任者 大濱 理砂

## まちの保健室を開催しました

令和2年11月19日、ゆめタウン浜田において、「まちの保健室」活動を実施しました。とはいえ、このコロナ禍ではブースを設けたイベント型での開催が難しく、新型コロナウイルス感染症に関するパンフレットと看護の日グッズを、店頭で配布させていただきました。私たちが、地域の皆さまの健康を願う中、お客様からも、「いつあるのかと待っていた。」「コロナに負けず頑張ってください!」などの温かい励ましのお言葉をいただきました。これからも、地域の皆さまの期待に応えられるよう、感染対策を講じながら状況に応じたスタイルで「まちの保健室」を開催していきたいと思っております。



## 第1回看護協会浜田支部研修会

令和3年1月16日第1回浜田支部研修会を開催しました。今年度は新型コロナウイルスの感染予防対策のため総会が出来ず研修会も行えませんでした。役員会で検討した結果、コロナ禍は今後も続くと思われ、新しい試みとして、済生会江津総合病院と浜田医療センターを会場にWeb研修を行うことにし、録画を行い各会員施設にDVDとして配布する計画にしました。感染防止対策を考え、今回の研修会は、参加者も済生会江津総合病院と浜田医療センターの会員のみとしました。

講師は、浜田保健所所長の村下伯先生にお願いし、「コロナ禍における地域包括ケアシステム」と題してお話いただきました。研修会開催4日前、浜田市に新型コロナウイルス感染者が発生したとの報道があり、開催の可否を講師である村下先生に相談し、拡大の可能性は低いとのことのお返事から無事開催することが出来ました。

前日からWeb研修会の準備が行われ、当日はスムーズに研修会を進めることが出来ました。これはひとえに済生会江津総合病院と浜田医療センターの病院スタッフのご協力であると感謝しています。

先生のお話は、最新の新型コロナ感染の情報について詳しく説明されました。次に本題である、地域包括ケアシステムについて話されました。浜田市での取り組みを紹介しながら、病院や施設、地域との連携について話されました。コロナ禍で自宅に閉じこもる生活の方が増え、人との交流や買い物なども困難になっている方がいるとのことでした。日常生活の支援にも今まで以上に工夫を凝らす必要があり、実際に行われている活動も紹介されました。

今回参加できなかった会員のみなさんもぜひDVDを活用していただき、情報を共有していただきたいです。

### 研修会アンケートの一部を紹介します

Q：この研修を受けて今後どのように取り組んで行きたいですか？

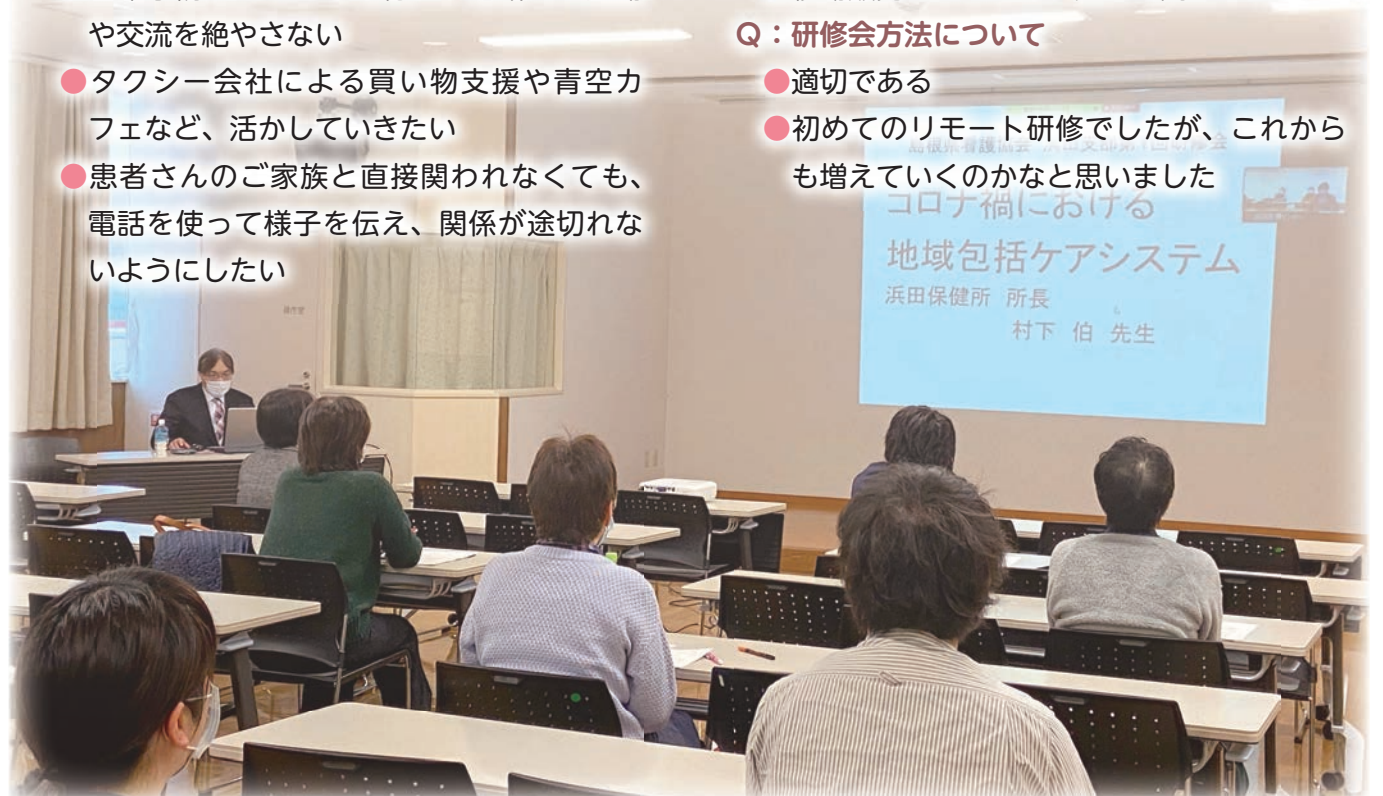
- コロナ感染予防をしながら人と人とのつながりを持ちつつケア支援をして行きたい
- 感染予防をしっかりと行い、地域での活動や交流を絶やさない
- タクシー会社による買い物支援や青空カフェなど、活かしていきたい
- 患者さんのご家族と直接関われなくても、電話を使って様子を伝え、関係が途切れないうようにしたい

Q：研修内容の印象に残った事は？

- 新型コロナの最新情報
- 洗面所での感染の可能性について、院内でも気をつけていきたい
- 移動販売者のことは、始めて聞きました

Q：研修会方法について

- 適切である
- 初めてのリモート研修でしたが、これからも増えていくのかなと思いました



# 診療所を併設した 介護医療院です (旧島田病院)



旧島田病院（故島田康夫先生）を改組し、この浜田市の中心地に医療と介護を合わせ持った診療所併設の介護医療院を令和2年4月1日に開設いたしました。

浜田の地で看取りまで対応できる施設です。また、血液透析をされている方もご利用いただけます。どうか多くの市民の方々にご利用いただきたく思っています。今後とも職員一同、地域医療・介護に貢献する所存ですので、何卒よろしくお願い致します。

大石内科医院 大島 康二

## ①介護医療院とは？

「日常的な医学管理」や「看取りやターミナルケア」等の医療機能と、「生活施設」としての機能を兼ね備えた施設です。長期にわたり療養が必要な要介護者に対して、「長期療養のための医療」と「日常生活上の支援」を一体的に提供します。

## ②病院とは違うのでしょうか？

介護医療院は病院ではなく、長期療養を受けながら生活する施設ですが、医師や看護師の配置が義務付けられており、医療を提供することができます。

## ③どのような人が利用できるのでしょうか？

要介護1～5の方であって、病院に入院するほどではないものの、例えば、喀痰吸引や経管栄養等の日常的・継続的な医学管理等の理由により、在宅や他の介護保険施設等で支えることが難しい方などが想定されます。

## ④どのようなサービスが受けられるのですか？

日常生活に必要な医療処置や看護、介護、リハビリテーション等を提供し、入所者の方の能力に応じ、自立した日常生活を営むことを支援します。

## ⑤どのような設備がありますか？

療養室の定員は4人以下でパーテーションを設置する等、入所者のプライバシー空間に配慮し、長期療養にふさわしい施設となっています。また、食堂、談話室、レクリエーションルーム、機能訓練室などが設けられています。

## ⑥利用料金はどのようになっていますか？

入所者の方の要介護度と施設サービス内容により介護報酬上の単位が定められています。また、居住費・食費については施設との契約額となります。（低所得の方は負担軽減の対象となります。）

## ⑦最後までいられるのでしょうか？

看取りやターミナルの対応も介護医療院の機能の一つとなっています。  
詳細はご相談ください。



介護医療院

このロゴマークは、より多くの方に「介護医療院」という施設を認知・理解してもらえるよう、統一的なPRツールとして選定されたものです。

治療される側、する側が交差するなか、人と人との「輪」が取り巻いています。医療を中心に据えた医師と介護スタッフの二重のサポートを有する施設が華開くように展開する様子をイメージしています。

# 済生会江津総合病院 地域包括ケア病棟の取り組み

済生会江津総合病院 山崎 純奈

H30年の江津市のデータによると高齢化率38.3%、平均寿命は男性78.7歳、女性86.4歳となっています。65歳における平均自立期間は男性16.7年、女性20.3年であり、これらの数値を県内8市と比較すると平均寿命・自立期間ともに最下位です。このような地域の背景から、昨年当地域包括ケア病棟に入院した患者のデータを分析したところ、平均年齢は81.9歳、認知症日常生活自立度Ⅲ以上は約50%で、認知機能の低下や複数の疾患を有し、自立度の低下がみられる高齢患者が増加していました。そこで身体・精神・社会的フレイルを予防する視点で、患者の離床を促し、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう8月より「病棟デイケア」を始めました。

病棟デイケアは、看護師、看護補助者、認定看護師、多職種で企画・運営し、感染面に留意しながら、毎週月・水・金曜の11時～15時に開催しています。午前は、嚥下体操、発声練習、吹き上げパイプを用いた肺炎予防運動とサロンでの昼食摂取、洗面所での歯磨き、整容を実施しています。午後は、看護師が企画した上下肢を使うレクリエーション(100歳体操、玉入れ、ちぎり絵、季節の作品作りなど)などの生活リハビリを行っています。

最初は、戸惑いもありましたが、5か月経った今では、患者さんと季節の作品を作り展示したり、患者自身が作成した物で運動を行ったりと様々な生活リハビリの企画が出来るようになりました。離床時間や身体を動かす機会が増えたことで、食事量の増加や夜間の安眠に繋がり、認知機能やADLの改善に繋がった事例も経験しました。更に、患者さん同士が交流しながらレクリエーションすることで笑顔も増え、社会参加のきっかけとなるなど日々病棟デイケアの効果を実感しています。

今後も、感染症対策を継続しながら、薬剤師と連携し内服管理の練習や日常生活リズムの構築、誤嚥予防、ADL・QOLの維持・向上に繋がりたいと思います。



## 〈編集後記〉

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で計画していたことが出来ない状況が続いていると思います。看護協会浜田支部もコロナ禍での活動を検討してきました。Web研修会もその中の一つです。出来ないときもあきらめず出来る方法を模索する中で見えてくる事もあり、実施できたときの達成感を感じる事ができました。研修会だけでなく、コロナ禍だからこそ各施設が情報を共有し、協力していけたらと感じています。島根県西部地区の感染状況も心配ですが、今後も体調管理を行い、頑張りましょう。ご協力をお願いします。